

かがわデジタル化推進戦略（案）

概要版

策定経緯

- 5月11日(火) 有識者と知事の意見交換会
- 6月 7日(月) 本部会議開催（第1回）・**骨子案**決定
- 6月 9日(水) 戦略委員会議（第1回）
- 9月13日(月) 本部会議開催（第2回）・**素案**決定
- 9月14日(火) 戦略委員会議（第2回・書面開催）

パブリックコメント(9月22日～10月21日)

- 12月 本部会議開催（第3回）・**戦略**決定
戦略の公表

素案からの主な変更点

- パブリックコメント及び外部委員の意見を取込み
- C D O（Chief Digital Officer：最高デジタル責任者）及び外部専門人材の設置について追加
 - デジタル化は、行政の施策のあらゆる分野にわたるものであり、全庁横断的に進めることが重要であるため、副知事をC D Oとする。
 - 加えて、C D Oのマネジメントを専門的見地から補佐するため、外部専門人材を登用。
- 名称から「（仮称）」を削除
- 専門用語の注釈の追加

かがわデジタル化推進戦略

趣旨

香川県では、デジタル社会の形成を通じて、県の総合計画である「みんなで作るせとうち田園都市・香川」実現計画に掲げる「安全と安心を築く香川」「新しい流れをつくる香川」「誰もが輝く香川」づくりを進めます。

戦略の期間

期間は令和3年度から令和7年度までの5年間とします。
※デジタル技術の実用化の動向、新たなサービスの実装、その他デジタル社会の形成に関する社会情勢などを踏まえ、更新を重ねます。

基本理念

安心・便利・豊か 人が主役のデジタル社会・かがわの形成

デジタル化とは

デジタル化には、次の3つの段階があるといわれています。
本戦略においては、3つの段階をまとめて、「デジタル化」と呼ぶこととし、最終的には、デジタルトランスフォーメーションによるデジタル社会の形成を目指します。

- デジタイゼーション (Digitization)
様々なアナログ資料を電子化すること
- デジタライゼーション (Digitalization)
世の中の様々な技術がデジタルで表現、もしくは運用されるようになること
- デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation (DX))
電子化されたデータとデジタル技術の活用により、サービスやビジネスモデル、組織等に変革がもたらされること



戦略推進の基本姿勢

デジタル化は「目的」ではなく「手段」であるという考えの基に、従来のやり方にこだわらず、技術の進展を踏まえた新たな取組みも積極的に取り入れていきます。

デジタル技術によって、限られた資源を有効活用し、効果的かつ効率的に、また、スピード感を重視して本来の目的を達成するため、以下を基本姿勢として戦略を推進することとします。

- 県民起点
県民目線でサービス向上に資する取組みを積極的に実践します。
- トライアル&エラー
失敗を恐れずに挑戦し、試行錯誤を繰り返すことで、迅速な施策展開を図ります。
- スモールスタート
限定的な範囲で小さく導入し、成果が見えてから全体に展開することで、迅速、低リスクかつ低コストでの施策展開を図ります。
- 継続的な改善
PDCAサイクルを繰り返すとともに、業務フローそのものの見直しについても併せて検討し、より簡素で効率的な対応が可能となるように施策展開を図ります。
- 民間との協働
民間が主導的役割を担うことができるように各種環境整備を行い、民間との協働による施策展開を図ります。

基本方針

だれもが、いつでも、どこでも、安心して使えるデジタル化

すべての県民がデジタル化による利便性を享受でき、生活が便利になるとともに、必要な情報・サービスに安全かつ容易につながることを目指します。

持続可能な地域社会をつくるデジタル化

県民とともに、様々なデータ等を活用し、ニーズや地域課題をとらえ、デジタル技術を活用した効果的で効率的な解決方法を実行することにより、将来にわたって持続可能な地域社会を目指します。

新たな価値を生み出すデジタル化

県内事業者が、生産活動やサービス提供におけるデジタルトランスフォーメーションを実現し、地域の産業にイノベーションによる新たな価値を創出することにより、力強く着実に成長していく経済社会を目指します。

新しい流れを呼び込むデジタル化

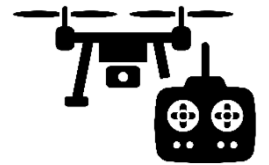
デジタル技術を活用し、県内に数多くある地域資源をさらに磨き上げ、県外の人や企業等の香川県への関心を高め、県内に呼び込むとともに、本県を訪れる、または移り住む方々と県民・県内事業者の共創による地域の活性化を目指します。

人を輝かせるデジタル化

県民が、デジタル技術を学び、身につけ、家庭、職場、学校、地域などそれぞれが置かれる環境で、ライフスタイルやライフステージに応じて、その能力を発揮し、自己実現を図るとともに、お互いを認め合いながら多様な人々の交流によって活躍の場が広がっていくダイバーシティ社会を目指します。

県民と行政をつなぐデジタル化

デジタル技術を活用した行政事務の効率化を図ることはもとより、県民の側に立って、分かりやすい、使って便利、いざというときに頼りになる行政サービスの提供を目指します。



推進戦略

<共創戦略>

香川県の強みを生かした、行政区域の垣根を超えた地域社会のデジタル化推進体制を構築

コミュニティにおいて、生み出された地域課題解決等のアイデアの実証実験等を実施

「安心・便利・豊か」の向上

県民自身による積極的な参画

県・市町

民間事業者

県民の皆様

シビックテック

教育機関

官民が集い、学び、交わり、共創するコミュニティ

官民協働による地域全体のデータ連携基盤

<創発戦略>

デジタル技術改革をはじめとした地域や暮らしの変化や課題に対する早期発見とその対応など創発の実践

県域全体の様々な主体の持つアイデアを掛け合わせ革新的サービスを創出

多様な主体との「共創」と「創発」により、生み出されたサービスは、行政サービスまたは民間サービスとして、順次、展開

01

生活分野のデジタル化

デジタル技術やデータの活用により、医療、教育、交通など様々な場面で、県民生活の利便性の向上や安全・安心の確保を図り、県民の皆様が豊かさを実感していただくことができるよう「生活分野のデジタル化」を推進します。

災害発生時の避難行動の支援、最適かつ最良の医療の提供、交通事故の防止 等



02

産業分野のデジタル化

デジタル技術やデータの活用により、県内事業者の生産性向上や競争力強化を促進するとともに、新たなサービス・事業の創出による経済の活性化や、感染症のリスクにも対応した持続可能な経済構造を構築する「産業分野のデジタル化」を推進します。

中小企業のデジタル技術活用の支援、情報通信関連産業の育成・誘致、スマート農業の推進 等



03

行政分野のデジタル化

デジタル技術の進展を踏まえて、行政手続等の利便性の向上を図るとともに、行政運営の効率化と業務プロセスの見直しを図ることで、今まで以上にスマートな行政に転換する「行政分野のデジタル化」を推進します。

行政手続のオンライン化、オープンデータの推進、デジタル技術を活用した業務効率化 等



04

デジタル環境の整備

すべての県民がデジタル化による利便性を享受でき、必要な情報・サービスに安全かつ容易につながるとともに、デジタル技術とデータの活用により、新たな視点から地域の課題解決を目指せるよう「デジタル環境の整備」を推進します。

情報セキュリティの確保と個人情報の保護、マイナンバーカードの普及と利活用、デジタルデバイド対策、「かがわDX Lab」における地域課題の解決 等



05

デジタル人材の育成

情報や情報技術を適切に活用する能力と日々進化するデジタル技術に関する専門知識やスキルを兼ね備え、本県の様々な分野におけるデジタル化を推進し、地域課題の解決やイノベーションの創出につなげることができる「デジタル人材の育成」に取り組みます。

「Setouchi-i-Base」等におけるデジタル人材の育成と活躍の場の創出、学校におけるデジタル教育の推進 等

